

令和4年度行政事業レビューシート (カジノ管理委員会)

事業名	カジノ事業の監督等に必要なシステムの構築等			担当部局庁	カジノ管理委員会事務局		作成責任者		
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和3年度	担当課室	企画課		課長 堀 信太郎		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特定複合観光施設区域整備法(平成30年法律第80号)第214条、第215条ほか カジノ管理委員会関係特定複合観光施設区域整備法施行規則(令和3年カジノ管理委員会規則第1号)			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	カジノ事業の監督等に必要なシステムを適切に構築し、厳格なカジノ規制の確実な執行に資すること。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①特定複合観光施設区域整備法で規定されているカジノ施設への入場回数制限を実現するために必要な入退場管理システム、②厳格な社会的信用調査の実施に必要な調査支援システム、③カジノ事業者からの免許申請等の受付やこれらの審査手数料等の電子納付に係る情報管理に必要な業務システム、を適切に構築等を行うもの。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求	
		当初予算	178	238	437	-	-		
		補正予算	-	-					
		前年度から繰越し	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-					
		予備費等	-	-					
	計	178	238	437	0	0			
	執行額	145	147	429					
執行率(%)	81%	62%	98%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	81%	62%	98%						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
					令和4年度よりデジタル庁にて一括計上(令和4年度:329百万円)。				
	計		-	-					
活動内容 (アクティビティ)	①入退場管理システム:事業者からの照会があった際に、入場回数制限の該当性を速やかに回答するためのシステムを、民間企業を活用し適切に構築する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	入退場管理システムの安定的な稼働及び事業者からの照会に対する速やかな回答の実現。	入退場管理システムの計画停止や災害による停止を除く稼働率(99.95%以上)	活動実績	%	-	-	-	-	
			当初見込み	%	-	-	-	-	99.95
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と令和元年~令和3年度の達成状況・実績					
	システムの構築等についての経費であり、定量的な目標を設定することは困難である。			入退場管理システムは、令和元年度に要件検討を終え、令和2年度からプロトタイプ的设计・構築を開始、令和3年9月末に構築を終えている。令和3年10月より本体構築を開始しており、令和5年3月までに構築を完了する。					
	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度
	カジノ事業者との連携テストまでに構築を完了させる。	構築スケジュール(進捗率。構築終了を100とする)	実績				20	60	
目標値						20	60		100
達成度			%			100	100		
活動内容 (アクティビティ)	②調査支援システム:カジノ事業者の廉潔性を確保するための社会的信用調査を支援するシステムを、民間企業を活用し適切に構築する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	調査支援システムの安定的な稼働の実現	調査支援システムの計画停止や災害による停止を除く稼働率(99%以上)	活動実績	%	-	-	-		
			当初見込み	%	-	-	-	99	99

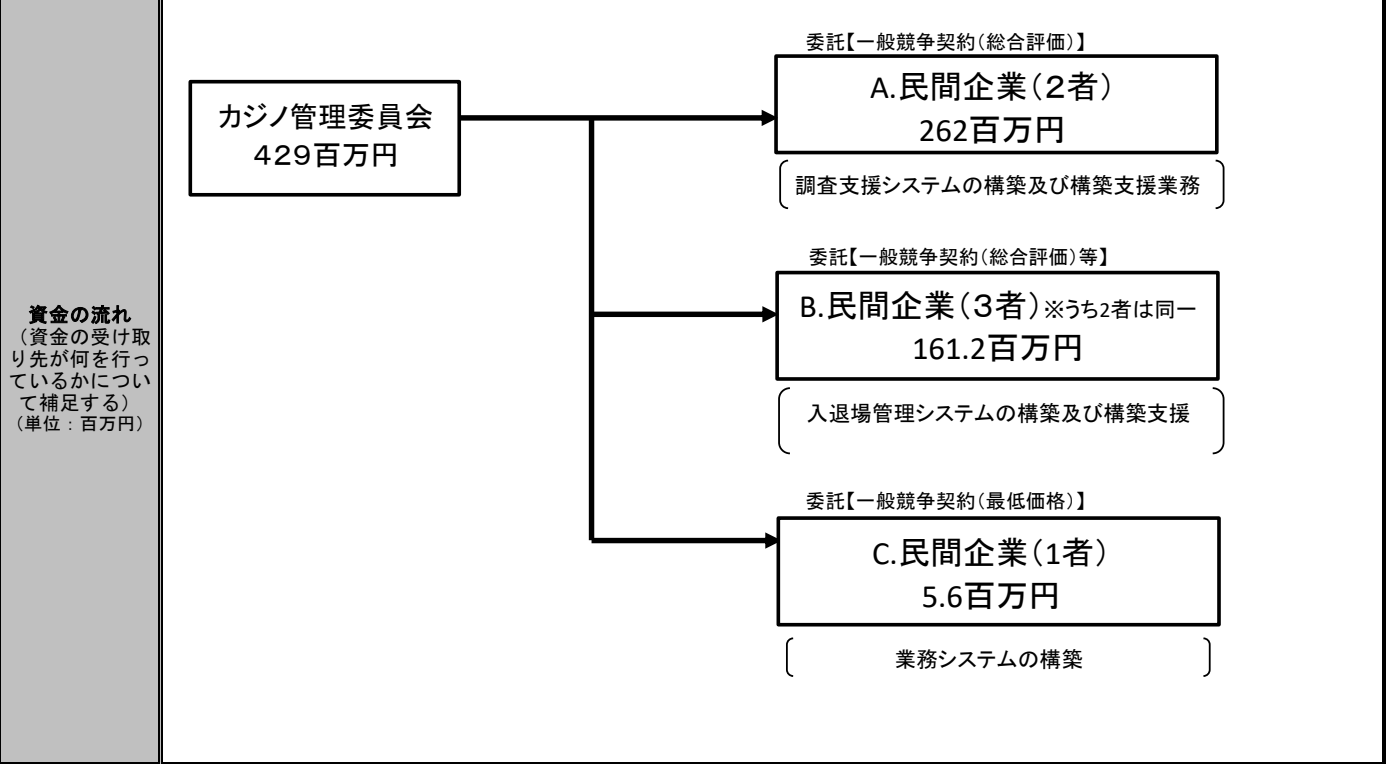
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
	システムの構築等についての経費であり、定量的な目標を設定することは困難である。			調査支援システムは、令和2年度末までにシステム要件検討を終え、令和4年3月に構築を完了し、令和4年度より運用を開始した。					
	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
	カジノ事業免許等の審査開始までに構築を完了させる。	構築スケジュール(進捗率。構築終了を100とする)	実績				100		100
		目標値				100		100	
		達成度	%			100		100	
活動内容(アクティビティ)	③業務システム:カジノ事業者からの免許申請等の受付やこれらの審査手数料等の電子納付に係る情報管理に必要な業務システムを、民間企業を活用し適切に構築する。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	業務システムの安定的な稼働の実現。	業務システムの計画停止や災害による停止を除く稼働率(99.9%以上)	活動実績	%	-	-	-		
			当初見込み	%	-	-	-	99.9	99.9
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
	システムの構築等についての経費であり、定量的な目標を設定することは困難である。			業務システムは、令和4年3月で電子納付情報取得に係る構築を完了しており、令和4年度より、運用を開始するとともに、更なる機能追加を行う。					
	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
	カジノ事業による免許等が行われるまでに完成させる。	構築スケジュール(進捗率。構築終了を100とする)	実績				100		100
		目標値				100		100	
		達成度	%			100		100	
政策評価、再生計画との関係	政策	カジノ施設の設置及び運営に関する秩序の維持及び安全の確保							
	政策評価	政策評価書 URL	https://www.jcrc.go.jp/about/evaluation.html						
	再生計画	該当箇所	令和3年度事前分析表、令和3年度評価書						
	取組事項	分野:	-						
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-						
		該当箇所	-						
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	カジノ行為への依存防止対策は、重層的、多段階的な取組を実施する必要があり、入場回数制限を含む厳格な入場規制はその取組の一つであることから、入退場管理システムは国民や社会のニーズを的確に反映している。また、社会的信用調査はカジノ事業者の廉潔性を確保するために必要であり、それに用いるシステムであることから、調査支援システムは国民や社会のニーズを的確に反映している。業務システムについては、カジノ事業者等からの申請書や手数料等を受け取るための情報管理に必要であり、カジノ事業等の免許制度を支えるシステムであることから、国民や社会のニーズを的確に反映している。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	入退場管理システムについては、特定複合観光施設区域整備法第70条第2項において、カジノ事業者が国に入場回数制限の該当性を照会することになっていることから、民間等に委ねることができない。カジノ事業者の廉潔性を確保するための社会的信用調査は国が実施するものであり、それに用いる調査支援システムも国が整備する必要があることから、民間等に委ねることができない。また、業務システムについては、特定複合観光施設区域整備法第40条等において、カジノ事業者等は免許を受けるために、申請書をカジノ管理委員会に提出することが求められていることから、民間等に委ねることができない。						
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	カジノ行為への依存防止対策やカジノ事業者の廉潔性の確保は厳格なカジノ規制を実現するうえで不可欠な政策であり、これを実現するためのシステム開発は国として必要かつ適切な事業である。業務システムについては、情報管理に必要であり、カジノ事業者による各種申請や手数料の納付・カジノ管理委員会による監査等を効率的に実施するために不可欠なものであり、必要かつ適切な事業である。							

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札を実施しており、競争性は担保されている。事業のうち一者応募となったものもあったが、結果的に一者応募となったものであり、十分な公募期間(50日以上)の設定、官報・HP等への掲載等、適切に公募プロセスを実施している。 また、随意契約となったものもあったが、事業の目的及び内容から、当該者との随意契約とせざるを得なかった。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応募又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	仕様書や見積りの精査、デジタル統括アドバイザー等によるチェックにより、費目や使途について真に必要なものに限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	仕様書を作成する段階でデジタル統括アドバイザー等からの助言を受け、仕様書の内容の具体化に努め、コストの削減を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	特定複合観光施設区域整備法第70条第2項において、国は入場回数制限の該当性を直ちに回答することとなり、入退場管理システムはその実施に不可欠なシステムであることから、他の手段・方法はない。また、社会的信用調査は、カジノ事業者の廉潔性を確保するために必要であり、調査支援システムはその効率的な実施に不可欠なシステムであることから、他の手段・方法はない。カジノ事業者等の厳格な審査・監督を行うために提出される膨大な量の資料を扱う上で、電子での申請の受付や申請に係る手数料等を電子的に受け取るための情報管理を可能にする業務システムはその効率的な実施に不可欠なシステムであることから、他の手段・方法はない。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	カジノ事業の監督等に必要なシステムについては、円滑に構築が進み、調査支援システム及び業務システムにおいては予定通り構築が完了している。	
	改善の方向性	今後も引き続き適正に予算を執行するとともに、カジノ事業の監督等に必要なシステムの円滑な構築等に努める。	
外部有識者の所見			
引き続き、適切に事業を遂行していただきたい。ただし、代替目標・代替指標について、他省庁の積極的に記載している事例を参照しつつ、進捗状況などの指標を記載することにより、見える化してはどうか。			
行政事業レビュー推進チームの所見			
終了予定	外部有識者の所見のとおり、代替目標・代替指標について、進捗状況などの指標を記載すべきである。その上で、本事業の予算については令和4年度からデジタル庁に一括計上になったため、予定通り終了とするが、事業所管官庁として、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めるべきである。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
終通予定	外部有識者の所見のとおり、代替目標・代替指標について、進捗状況などの指標を記載した。本事業の予算については、令和4年度からデジタル庁に一括計上になったため、予定通り終了とするが、事業所管官庁として、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。		
備考			
令和4年度からデジタル庁にて一括計上されている。			

関連する過去のレビューシートの事業番号

令和2年度				
令和3年度	2021	カジノ	20	0002

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



A. 日鉄ソリューションズ株式会社			B. 株式会社野村総合研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託	調査支援システムの構築	207.6	委託	入退場管理システムの構築	113.9
計		207.6	計		113.9
C. フォーシーズ株式会社					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託	業務システムの構築	5.6			
計		5.6	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日鉄ソリューションズ株式会社	9010001045803	調査支援システムの構築	207.6	一般競争契約 (総合評価)	1	-	【理由】 入札説明書を受領したが入札に参加しなかった業者へヒアリングを行った結果、「コロナの影響で体制・要員の確保が困難」との回答があった。 【改善策】 業者への幅広い勧奨等の改善策を講じていく。
2	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	7010001088960	調査支援システムのPJMO支援業務	55	一般競争契約 (総合評価)	1	-	【理由】 入札説明書を受領したが入札に参加しなかった業者へヒアリングを行った結果、「コロナの影響で体制・要員の確保が困難」との回答があった。 【改善策】 業者への幅広い勧奨等の改善策を講じていく。

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社野村総合研究所	4010001054032	入退場管理システムの構築	113.9	一般競争契約 (総合評価)	2	-	
2	丸紅情報システムズ株式会社	1011001030018	入退場管理システムのPJMO支援業務	32.5	一般競争契約 (総合評価)	2	-	
3	株式会社野村総合研究所	4010001054032	入退場管理システムの運用指針作成	14.9	随意契約 (その他)	-	-	本事業は、現在構築中の入退場管理システムの機能要件と業務の流れをまとめて運用指針案を作成するものであり、同システムの構築業務に携わり、機能詳細を知っている野村総合研究所のみが実施可能のため。

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	フォーシーズンズ株式会社	9030001049868	業務システムの構築	5.6	一般競争契約 (最低価格)	2	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	B	株式会社野村総合研究所	4010001054032	入退場管理システムの構築(5会計年度)	350.7	一般競争契約 (総合評価)	2	-	